

田辺三菱製薬株式会社



田辺三菱製薬

ニューロダーム社の買収について

2017年7月24日

代表取締役社長 三津家 正之

買収の概要

買収の概要

- ◆買収対象：ニューロゲーム社
- ◆買収形態：当社がイスラエルに買収目的会社（SPC）を設立し、対象会社とSPCが合併して、ニューロゲーム社を完全子会社化
- ◆買収価格：1株あたり39.00米ドル（現金）
- ◆買収金額の総額：USD1,117M（1,241億円）
全額手元資金を充当
- ◆買収完了（予定）：2017年10月

ニューロダム社の概要

会社概要



- ◆ 名称:ニューロダーム社 (NeuroDerm Ltd.)
- ◆ 設立／所在地:2003年設立／イスラエル国レホヴोट
- ◆ 社長 & CEO: Oded S. Lieberman
- ◆ 従業員数:77名 (2017/3月時点)
- ◆ 事業領域:中枢神経系治療薬(パーキンソン病等)の研究開発
- ◆ 発行済株式数:26.3百万株 (2017/7/21時点)
- ◆ 株価:33.20米ドル(ナスダック終値2017年7月21日時点)
- ◆ 上場取引所:ナスダック上場

ニューロダーム社の強み

◆ 臨床課題を解消するアイデア創出とそれを具現化する研究開発力が魅力



新剤形による新規投与ルートの開拓



患者QOL改善につながる新薬創製



特許の保有(研究開発力)



既存薬活用による開発リスク低減と
開発期間短縮

パーキンソン病の
アンメットメディカル
ニーズに合致した
魅力ある開発品

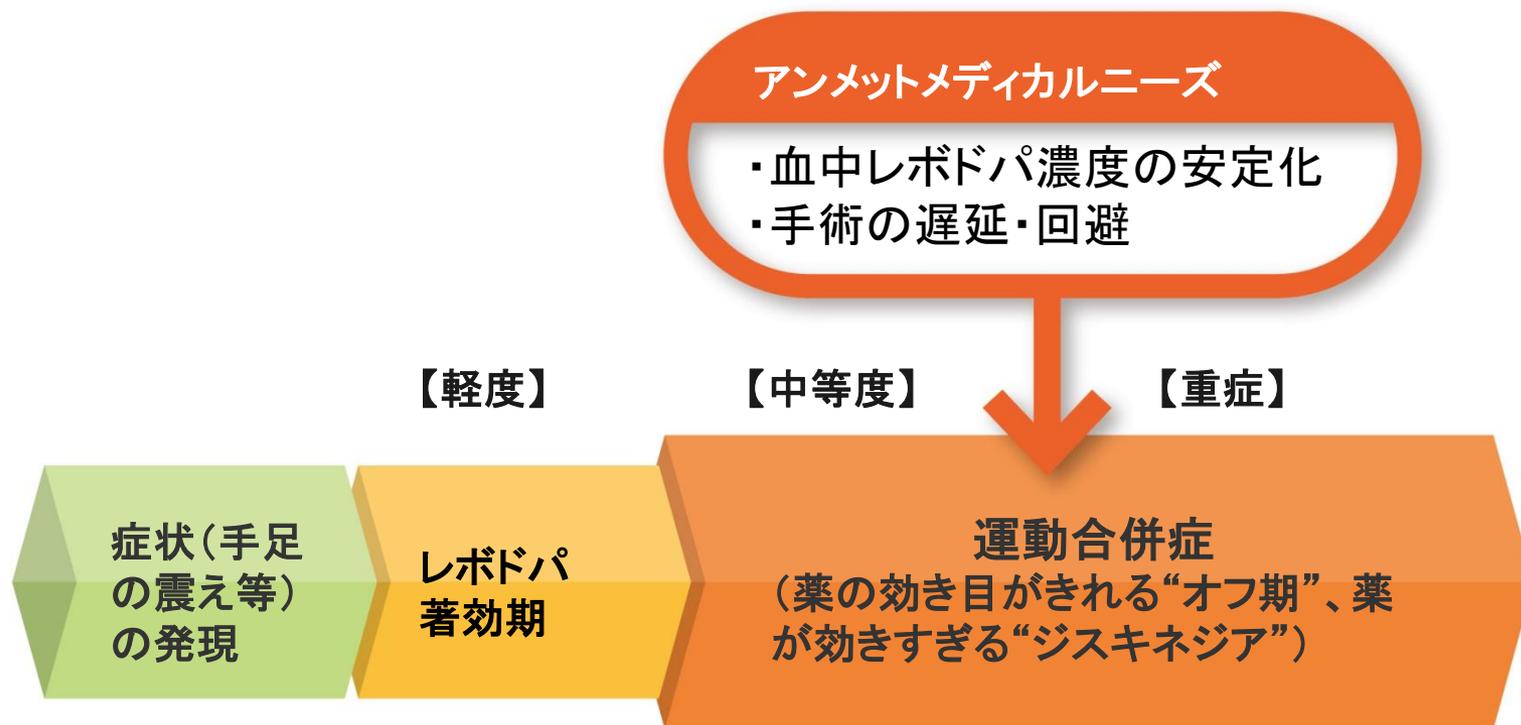
ND0612

ND0701

...

パーキンソン病の概要

パーキンソン病の一般的な全経過



標準治療薬:レボドパ/カルビドパ経口剤

中等度以降は、症状の程度によって手術を伴う胃ろう建設に移行する

~5年

0年

3年

5-10年

10年~

米国パーキンソン病患者数: 100万人*

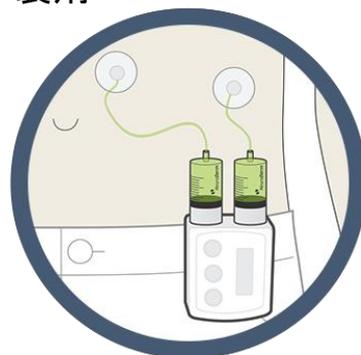
* 情報源: Parkinson's Disease Foundation web site

開発品および製剤研究力

◆ 世界で初めてレボドパおよびカルビドパの液剤化に成功。経口剤では難しかった24時間の安定的なレボドパ/カルビドパの投与を可能に

製品名	一般名	想定適応症	ステージ	上市時期
ND0612	レボドパ/カルビドパ 持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤	パーキンソン病 (中等度 / 重症)	P3	FY2019
ND0701	アポモルフィン 持続皮下注投与ポンプ製剤	パーキンソン病 (重症)	P2	-
ND0801	ニコチン及びオピプラモール 経皮剤	中枢神経系疾患に伴う 認知障害	P2	-

ND0612ポンプ製剤



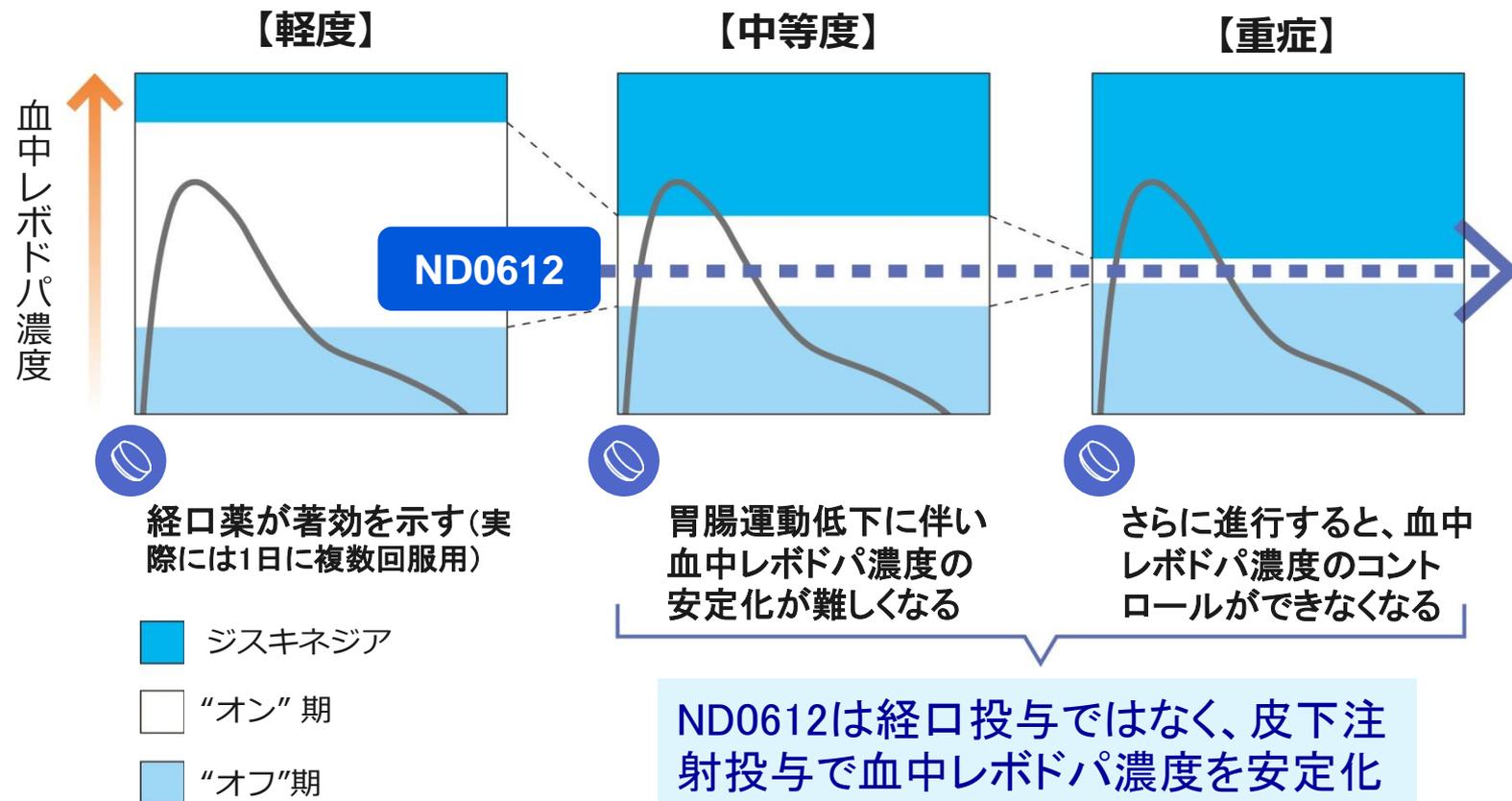
ND0612パッチ製剤(デバイス開発中)



ND0612の概要

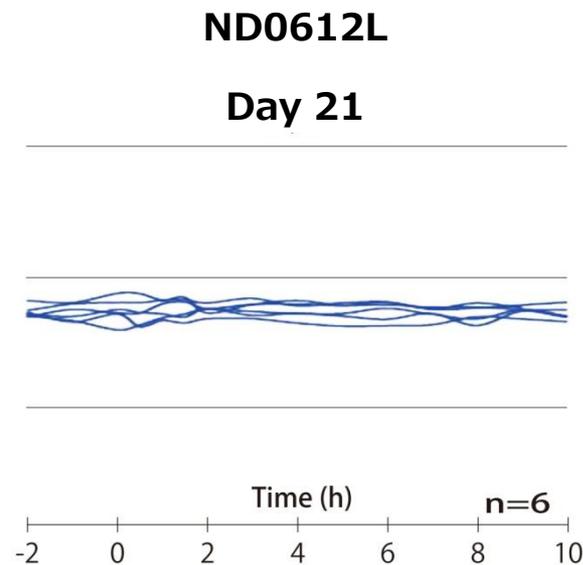
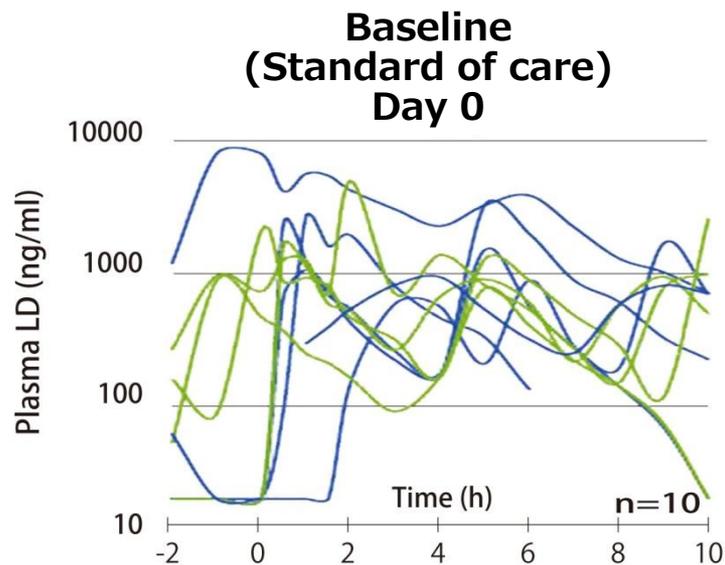
- ◆ ND0612は血中レボドパ濃度の安定化により、薬の効き目がきれる“オフ期”および薬が効きすぎる“ジスキネジア”を減少させる効果が期待できる

病期の進行



ND0612の臨床データ

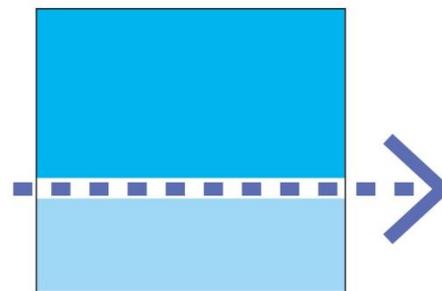
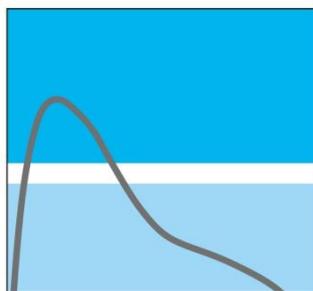
ND0612投与により血中レボドパ濃度が安定



経口剤投与

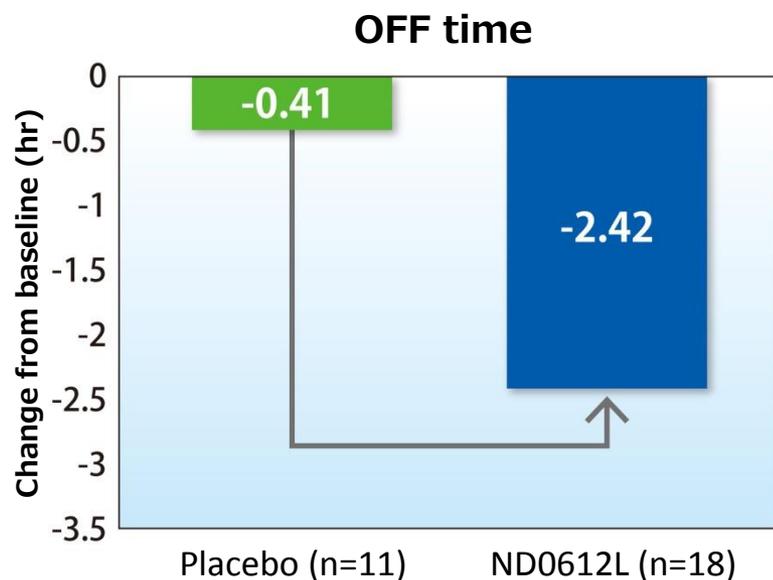
ND0612投与

- ジスキネジア
- “オン”期
- “オフ”期

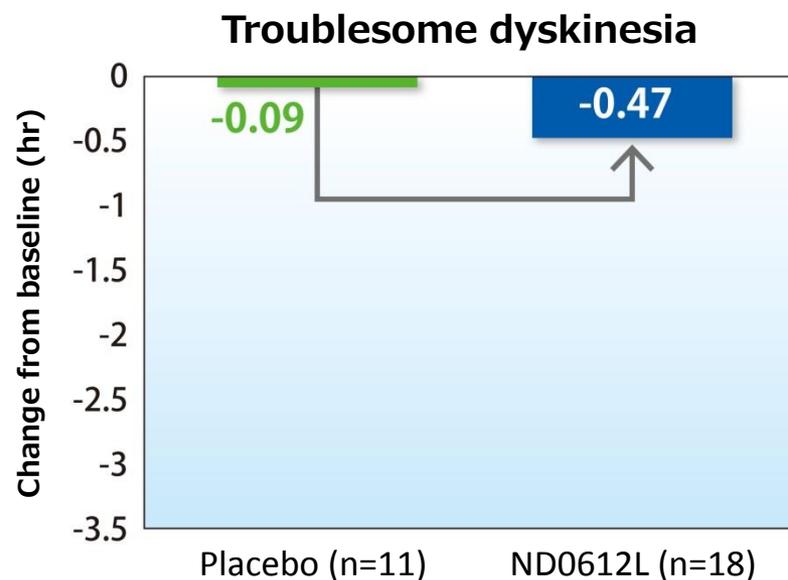


ND0612の臨床データ

ND0612投与患者では、レボドパ/カルビドパ経口剤投与患者と比較して、臨床課題を有意に改善した



“オフ”期が平均 2 時間短縮

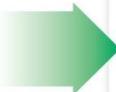
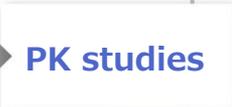
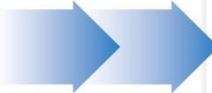


“ジスキネジア”の発現減少

Placebo : 標準治療

ND0612の開発計画

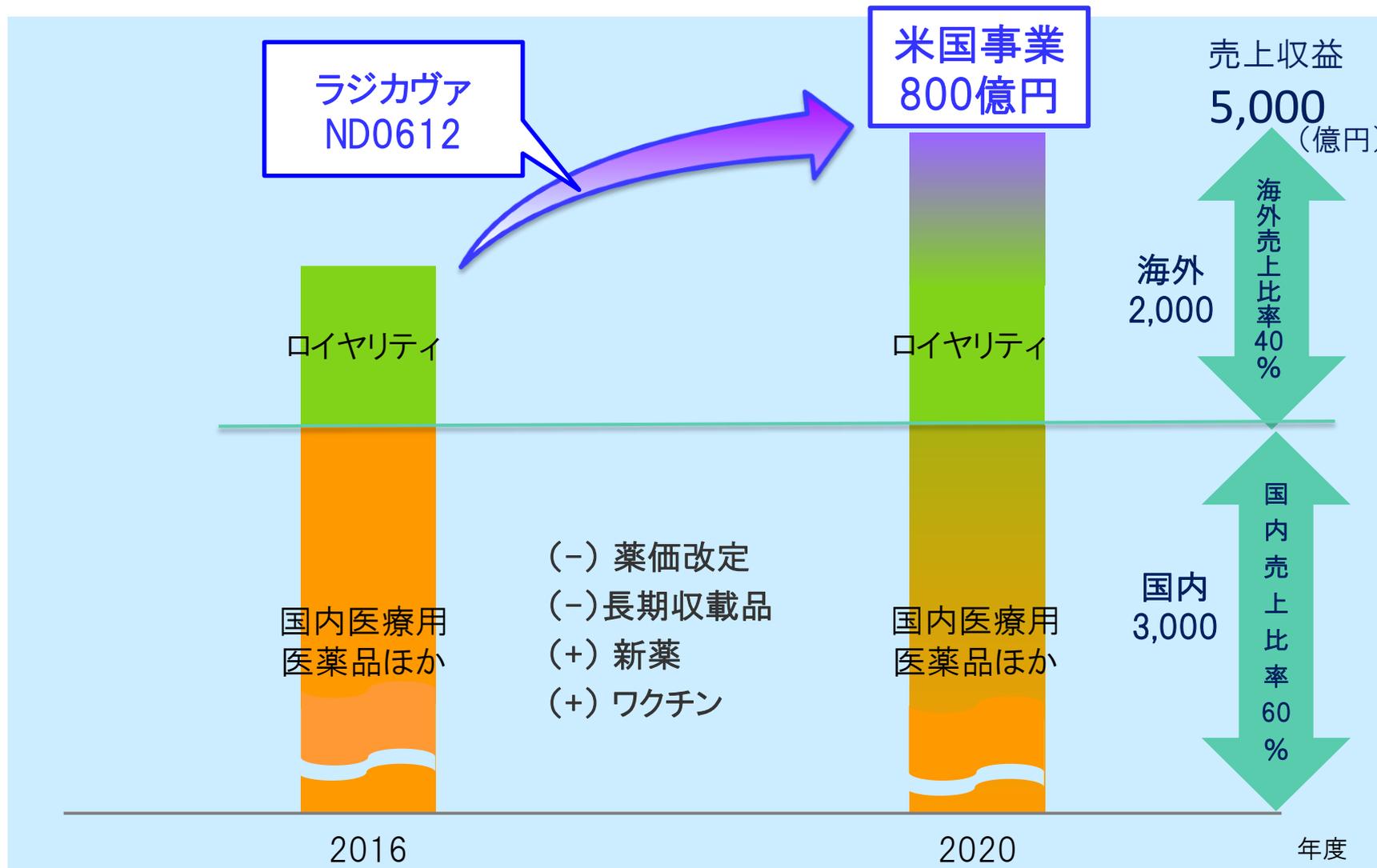
- ◆ 2018年度に米欧同時申請、2019年度に発売予定
- ◆ 米国では既存薬とのPK*試験実施により、早期申請をめざす

	FY 2017	FY 2018	FY 2019
		 1 week (optional 12 months) 70-80 patients  High dose long-term safety study 12months ~150patients  NDA submission	
		 Phase3, High and Low dose 16 weeks vs. placebo 16 weeks (optional 12 months) ~240patients  EMA submission	

* PK: Pharmacokinetics

買収の目的・意義

中期経営計画16-20における位置づけ



ニューロゲーム社買収の意義

- ◆ ラジカヴァに続く神経疾患領域パイプラインの拡充
- ◆ 2020年の米国売上800億円の達成
- ◆ 米・欧・日亜へのグローバル展開可能な品目の獲得
- ◆ デザインド・ファーマシューティカルズの展開

米国事業基盤の活用

◆ 米国のラジカヴァ事業基盤が活用可能

	ラジカヴァの事業基盤	ニューロゲーム社製品
領域 対象医師	神経内科 ALS*専門医	神経内科 PD*専門医
セールsteam	約 50名	約80名 (約30名追加)
投与対象	筋萎縮性側索硬化症 (オーファンドラッグ)	パーキンソン病 中等～重症患者
薬剤の特徴	ALS進行抑制を証明した、初めての治療薬	血中レボドパ濃度を一定(24時間)に維持できる、初めての治療薬
投与経路	静脈注射	皮下注射
治療場所	オフィス、注射センター、在宅	在宅
患者サポート	「Searchlight Support」情報提供(投与施設紹介、保険償還、看護師サポート等)	「Searchlight Support」と同様の情報提供(保険償還、看護師サポート等)

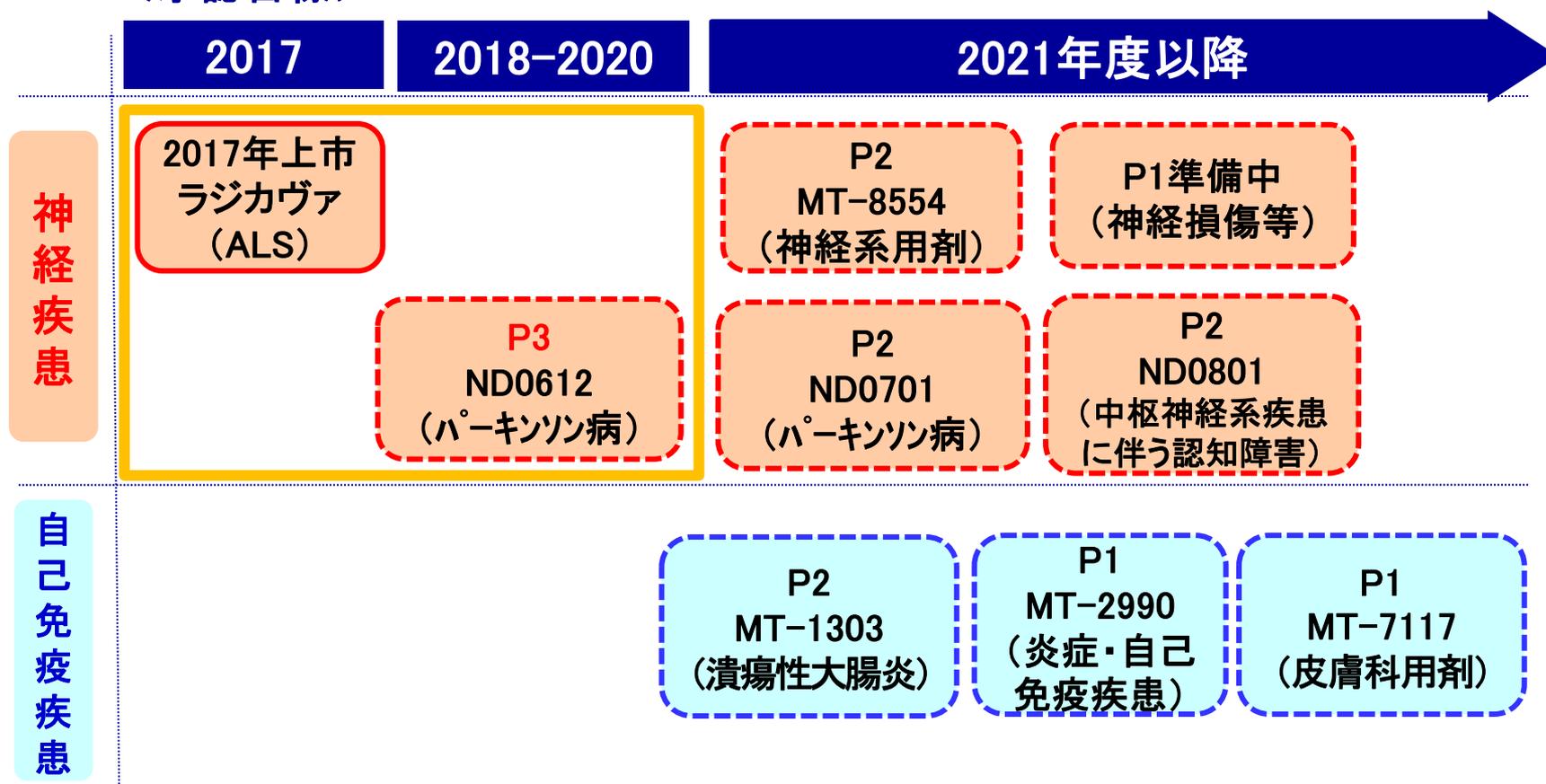
*ALS: amyotrophic lateral sclerosis(筋萎縮性側索硬化症), PD: Parkinson's disease(パーキンソン病)

買収後の米国事業戦略

米国パイプラインの拡充

◆ 神経疾患領域と自己免疫疾患領域を中心としたスペシャリティ領域でプレゼンスを築く

<承認目標>



米国事業展開のロードマップ

- ◆ 2020年米国売上収益800億円、その後の成長により、国内に次ぐ第二の事業の柱とする

米国売上収益(2020年度) 800億円

M&A or
獲得品目
(神経疾患)

MT-8554

M&A or
獲得品目
(自己免疫疾患)

MT-7117

MT-1303



NeuroDerm

第2ステップ:
米国事業の拡大

第3ステップ:
米国事業の
継続成長

RadicavaTM
(edaravone) *IV infusion*
30mg/100mL

第1ステップ:
米国事業の第一歩

米国戦略投資
2,000億円以上

買収スケジュール・業績への影響

◆今後のスケジュール

2017年7月	当社がイスラエルに買収目的会社(「SPC」)を設立済
2017年7月24日	ニューロダーム社、当社およびSPCを契約当事者とする合併契約を締結
2017年9月頃(予定)	ニューロダーム社が株主総会を開催し、同株主総会にて本合併を承認
2017年10月頃(予定)	ニューロダーム社を存続会社とし、SPCを消滅会社とする吸収合併の効力発生
2017年10月頃(予定)	当社が、ニューロダーム社を完全子会社化

◆業績への影響

現在精査中であり、買収手続き完了後、改めてお知らせいたします。

Open Up the Future

医療の未来を切り拓く

- 新薬創製力
- グローバルな事業基盤
- 強固な財務基盤
- 300年以上続く経営

新規治療法の開発

ND-0612
ND-0701
ND-0801

⋮

- 臨床課題を解決する、優れたアイデア創出力
- 製剤化とデバイス開発力
- 外部資源活用による、効率的な研究開発推進
- 起業家精神

田辺三菱製薬

ニューロダーム社



Open Up the Future

—医療の未来を切り拓く—

地図があるところだけを進むのではなく、なければ、道を切り拓いていく。

それが、私たち田辺三菱製薬の挑戦です。

独自の価値を一番乗りでお届けする、
スピード感のある企業へ



田辺三菱製薬

注意事項

本資料に記載した一切の記述内容は、現時点での入手可能な情報に基づき、一部主観的前提をおいて合理的に判断したものであり、将来の結果はさまざまな要素により大きく異なる可能性がありますので、ご了承ください。